

令和7年度

学校自己評価システムシート（さいたま市立城南小学校）

学校番号 100

【様式】

学 校 教 育 目 標	認め合い 学び合い 高め合う 心豊かな児童の育成（「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子の育成）
目 指 す 学 校 像	○学び合い、高め合う、活力ある学校 ○規則と秩序があり笑顔あふれる学校 ○美しく整えられ安全で潤いのある学校
重 点 目 標	1 児童の実態を把握し、情報端末を活用した学習と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 2 児童・保護者に寄り添った教育相談体制の構築と安心・安全な学校づくりの推進 3 コミュニティ・スクールとして地域・保護者との協働の推進 4 安心・安全で落ち着いた豊かな教育環境の整備 5 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくりとワンチームで対応できる組織力の構築

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	・R6 市学習状況調査では平均を下回っている学年が見られる。 ・学習タイムを継続して実施した結果、自分の課題に合った方法で学習する習慣が身に付いてきた。 ・学校評価「授業がよくわかる」の肯定的評価が児童・保護者 80%以下である。 ・学力の向上のためタブレットを活用した授業を効果的に実施し、基礎・基本を定着させ、思考・判断・表現力を向上させる。 ・創造的な学習意欲を高める授業を展開する ・学びの土台となる体験活動を取り入れた授業や学校行事を実施する。	学びの自立化と学びの質の向上	①スクールダッシュボードやドリルパークの活用等学校課題研修を活かし自立した学習者の育成のための授業実践を行う ②市学習状況調査等の結果を踏まえたTT など指導体制を工夫し、個別最適な指導を行う。 ③思考力や表現力の基礎となる読書活動や STEAMS TIME など探究的な授業を工夫し、実践する。 ④積極的に体験活動を取り入れた学習活動を実施する。	①学校評価「授業がよくわかる」の肯定的評価が児童 80%以上になったか。 ②スクールダッシュボード等、3年生以上「授業で一人一台端末を毎日活用」の肯定的評価が児童 70%以上になったか ③学びの指標の調査結果が昨年度より向上したか。 ④児童の主体性を育む体験活動を実施したか。					
		安全安心な学校に向けた指導体制の推進	①交通安全に関わる児童への安全指導を徹底する。 ②児童の危機意識や対応力を高めるため、より実践的な訓練を実施する。 ③定期的にアンケートを活用した面談を行い、相談体制を確立する。	①学校評価「交通安全」の肯定的評価が保護者 80%以上になったか。 ②児童の対応力を高める訓練を実施できたか。 ③学校評価「相談しやすい」の肯定的評価が児童 80%以上になったか。					
2	・児童間トラブルなど生徒指導案件については報告・連絡・相談・見守りを欠かさず、迅速かつ組織的に対応している。 ・教職員は保護者やSC・SSWと連携を図りながら、誠実に児童に寄り添った対応を行っている ・Sola ルームの活用など校内指導体制の改善が必要である。 ・個に応じた指導・支援を共有する組織の体制改善が必要である。 ・児童の安全意識を高め、安全な登下校やけがのない行動等の実践力を高める。	安全安心な学校に向けた指導体制の推進	①交通安全に関わる児童への安全指導を徹底する。 ②児童の危機意識や対応力を高めるため、より実践的な訓練を実施する。 ③定期的にアンケートを活用した面談を行い、相談体制を確立する。	①学校評価「交通安全」の肯定的評価が保護者 80%以上になったか。 ②児童の対応力を高める訓練を実施できたか。 ③学校評価「相談しやすい」の肯定的評価が児童 80%以上になったか。					
		児童に寄り添った支援体制の推進	①スクールダッシュボード等を活用し、不登校やいじめ、問題行動等の早期発見と対応を迅速に行う。 ②生徒指導委員会と教育相談・特別支援教育委員会を分け、ケース会議など情報共有したり、対応を検討したりする。	①学校評価「いじめ防止」の肯定的評価が保護者 80%以上になったか。 ②2つの委員会を毎月1回以上実施し、情報共有を行うことができたか。					
3	・学校運営協議会が主体となり、城南小フェスティバルを開催することができた。 ・学校の教育活動を保護者や地域に周知するため、城南小ブログを発信した。 ・授業参観週間を実施したが、保護者の来校数はあまり伸びなかった。 ・地域の教育資源や地域の人材を授業等に活かし、学校と地域との関係を深める。	コミュニティ・スクールを核とした児童の健全育成の推進	①教職員や児童が参加したり、保護者や地域に熟議等の内容を公開したりして、学校運営協議会の運営を活性化させる。 ②学童連絡会の開催など、関係機関との連携の機会を増やす。	①学校運営協議会についての情報をHPで発信、保護者や地域に周知したか。 ②学童連絡会を年2回開催できたか。					
		学校教育への保護者や地域の方の参画	①創立45周年記念行事等、学校と保護者が連携した取組を実施する。 ②給食の試食等、学校の教育活動への関心を高める取組を行う。	①創立45周年記念行事をPTAと協力して行うことができたか。 ②保護者や地域に教育活動を積極的に公開したか。 ③授業の様子をブログで発信したか。					
4	・不要な物を整理し、児童が落ち着いて過ごすことができる環境に改善されてきた。 ・教具等の整理や花壇の緑化など明るく気持ちのよい学習環境を整えることができた。 ・児童の作品の展示など、校内や教室の計画的かつ効果的な掲示環境の改善を行う。 ・中央階段や廊下等に埃やごみが多く、児童の清掃活動の徹底と工夫改善を行う。 ・校舎の外側窓の汚れが見られ、清掃を行う。	美しく整備された教育環境による教育活動の推進	①個別指導のために空き教室を利用する ②教具の修理や補充を行い、教育活動で活用できるようにする。 ③ユニバーサルデザインの視点で学習等に活きる掲示環境を整備する。	①空き教室や教具が使いやすく整備され活用されているか。 ②掲示物の活用について改善を行うことができたか。					
		安心安全で豊かな教育環境の整備	①施設設備等の日常・定期・臨時点検を行い、危険箇所には迅速に対応する。 ②清掃の仕方について改善を図る。	①児童のけがの件数を昨年度より減少させたか。 ②児童の清掃活動が徹底されているか。					
5	・困難な業務において教職員同士のサポートや改善への意識が高く、連帯感が強い。 ・日課を変更して研修や会議等の時間を確保し、勤務時間内での業務を行えるようにした。 ・小規模校のため一人当たりの仕事量が多く、担当する校務分掌によっては業務の偏りがあった。 ・業務によって教員一人で行っている傾向が見られ、連携不足により業務に支障がでた事案があった。 ・ベテラン教員の経験を伝承しながら、若手教員を育成する。	教職員の指導力の向上	①OJTを進め、若手教員を育成する。 ②研修主任を中心として、学校課題研修を計画的に行う。	①教科等主任など任された業務を通して若手教員を育成することができたか。 ②学校課題研修を活かし、全教員が授業改善に取り組むことができたか。					
		組織的な働き方改革の推進	①自己評価シートやキャリア振り返りシートを活用し個々のマネジメント力を高め、業務改善に活かす。 ②起案の精度を高め会議時間を減らす。 ③集金等の仕組を改善し業務を削減する	①勤務時間内で会議を行うことができたか。 ②2つ以上業務を削減できたか。					

学びの質の向上に関する取組

心の子どもの発達やサポートに関する取組

学校地域とともにある取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組